

## 概要

平成30年7月豪雨を受け、現在国土交通省と愛媛県は、「肱川緊急治水対策」を進めており、今後5年間で激特事業により平成30年7月豪雨と同規模の洪水を越水させないよう、河川整備に全力で取り組んでいるところである。

一方、水位が高くなった場合の堤防の安全性については、流域住民の関心の高いところであり、この度、流域住民の皆様と一緒に肱川について勉強する「つなごう肱川教室」の一環として、愛媛大学の岡村未対教授をお招きして、「堤防の現状と安全性」について講義して頂いた。

1. 対象 : 肱川流域住民及び肱川に関心のある方
2. 日時 : 令和元年11月23日(土) 15:00～17:00
3. 場所 : 平公民館 2階大ホール(大洲市徳森2280-2)
4. その他 : 参加人数 70人程度、参加報道機関 3社(NHK松山、愛媛新聞社、建通新聞社)



## 一般利用者からのご意見

- 先生の話聞いて、国や県に任せるだけでなく、自分たちで行動しないといけないと思った。防災意識が高まった。
- 非常に参考になった。国や県には堤防を作って頂くのも大事だが、破堤することがないように既設堤防の調査や対応も進めてほしいと思う。